

☆ひなまつり☆

ひな祭りは3月3日の「桃の節句」に、子どもの健やかな成長、健康、幸せを願う行事ですね。すみれ組でも子どもたちの心身の健康を願いながらひな祭り製作をしました。

すみれ1組

こども園の玄関ホールに飾られた雛壇を見て、「おひなさまあったよ！」「私のお家も飾ったよ」と保育者に伝えたり、友達同士で会話を楽しんでいました。ロンディでお雛様を作るなど、ひな祭りが待ち遠しい様子も見られましたよ。ひな祭りの製作では染め紙に挑戦！染め紙とは、和紙を折りたたみ、絵の具に浸してにじみ出る色合いや偶然できる模様を楽しむ技法です。それぞれ好きな色を選んで和紙に絵の具をにじませ、ドキドキしながら開く子どもたち。世界に一つ、自分だけの模様が出てきて「見て！」「こんなに変わったよ」と喜んで教えてくれる場面もありました。



和紙は折って、お内裏様とお雛様の着物になりました。折る時も指先を器用に使ってしっかりと折っていました。お内裏様とお雛様の顔も自分たちで色鉛筆で描いて土台に貼り、保育室の入口に飾ると喜んでいましたよ。



すみれ2組

「節分終わったら次ひなまつり？」と日本の行事への関心も高まっている様子が見られました。絵本『もりのひなまつり』を読み合うと、「あかねこども園のおひなさまは今なにしてるのかな？」「お化粧してるのかな？！」「髪きれいにとかしてるのかな？！」と想像をふくらませていました。玄関におひなさまが飾られると「来てくれた！」と嬉しそうな笑顔があふれていました。保育室にもおひなさまを飾りたい！絵本を見ながらラキューやロンディなどで作り始めていました。折り紙でお雛様を作り、紙皿に絵の具で色を塗ったり、毛糸でひもを通して土台にしました。



折り紙では角を合わせて折る、押さえながら折るなど、指先も器用に使えるようになって、複雑な折り方にも挑戦出来ています。自分の作ったお雛様、友達の作ったお雛様、お互い見合って「いいね～」と褒め合う姿はなんとも微笑ましく、友達との仲の深まりも感じられましたよ。



◎できたよ！◎

すみれ組に進級する時から「自信を持つ」心を大切にしてきた子どもたちは、今では多くのことが出来るようになりました。登園時の持ち物の準備では、遊びが気になって後回しになりがちだった子が、「ほら、もう全部終わったよ！」と得意げに報告する場面も見られます。保育者や友達から「早い！すごいね！」と声をかけられると、にっこり笑う姿も見られました。

遊びの場面では、自分たちで絵本の世界に入り込み、「〇〇を作りたい」「〇〇が必要じゃない？」「これも作ろう」と、多くのアイデアが生まれます。集いの時間にも自分の意見をしっかりと述べられる子が増えました。物を作る際には、ラキューやロンディを使い「できない」と言う子もいましたが、友達が「こうすればいいよ」「やってあげる」と声をかけてくれたことで、次は自分で最後まで作れる喜びを味わうことができました。友達同士で協力する力が高まったことも、嬉しく思います。

2月初旬からは、午後の間食を自分で机に運んでいます。友達とぶつかりそうになると「ごめんね」と謝る姿や、持っている子が通れるように避けて並ぶ姿も見られ、思いやりの心を感じています。

すみれ組の生活も残り1か月。これからも子どもたちの「できた」を見逃さず、大切に見守っていきたいと思います。